

令和7年度 東伊豆町立稲取小学校 グランドデザイン

東伊豆ビジョン(育てたい人間像)『主体的に人とかわかり夢を育む子～小さな達成感を積み上げよう～』

国の方針 「生きる力」の育成

- ・確かな学力
- ・豊かな心
- ・健やかな体

静岡県の方針 有徳の人の育成

- ・自立した人
- ・関わり合いを大切に人
- ・社会の一員として行動する人

東伊豆町の基本理念

- ・「心ゆたかな人づくり」を目指す
- ・「東伊豆で育ってよかった。東伊豆で暮らしてよかった。」と実感できる教育の推進



《 学校教育目標 》

明るく 共に高め合う 稲取っ子

めざす子供像

- 授業で活発に話し合える子
- 元気なあいさつができる子
- 仲間とともに、めあてに向かって挑戦できる子

笑顔あふれる学校

【 学校経営目標 】

- (1) 学校教育の要である授業を大切に、学びの実感をもてる授業づくりを通して、確かな学力の育成を図るとともに、地域の教育資源を生かした特色ある教育を推進する。
- (2) 人との関わりを大切に、認め合う心を育てるとともに、自己有用感を培う。
- (3) 「チーム稲小」の一員としての自覚をもち、協働して学校運営にあたり、業務の効率化を図る。

短・中・長期のPDCAを効果的に実施し、授業及び教育課程の改善を図る。

【重点目標】

元気なあいさつを交わそう！

活動のキーワード

進んで

思いやり

粘り強く

学習推進部

「個別最適な学び」と「協働的な学び」

活動推進部

主体的・対話的で深い学びの充実

基礎基本の定着

- ・「聞く」「話す」の基盤づくり ・指導スタンスの明確化
- ・ICT機器の意図的な計画的な活用(教師・子供)
- ・自主学習の充実と家庭との共働

読書活動の日常化

- ・朝読書、週末読書、すきま読書の推進 ・読書時間の充実
- ・図書アドバイザー、読み聞かせボランティアとの連携

特別の教科「道徳」の推進

- ・考え議論する授業実践(学習の足跡)
- ・重点「相互理解」「寛容」への取り組み

交流・連携・体験活動の充実

- ・地域の学習素材を生かした授業及び活動
- ・GTの発掘、連携と計画的な活用
- ・統合を見据えた熱川小学校との交流活動

体育活動の生活化

- ・目標をもって取り組む場設定
- ・授業内の運動量確保と活動の生活化

多文化共生・人権・自治、異年齢活動の充実

支持的風土を生み出す学級経営

- ・発達段階に応じた学級活動の計画的な実施
- ・意図的な子供に任せる場の設定
- ・人権教育の手引き、人間関係プログラムの活用

自主的、実践的な態度を育てる特別活動

- ・子供が主役の児童会、委員会活動の充実
- ・「児童集会」の計画的な実施
- ・学級会と代表委員会の確かな連携
- ・縦割り活動の充実と活性化

積極的な生徒指導

- ・児童理解に基づいた{確かな信頼関係}{人間関係}の構築
- ・プロセス時の意図的、積極的な賞賛
- ・あいさつに関する合言葉

「元気なあいさつ いつでも どこでも 誰とでも 何度でも」

命を大切にする指導

- ・「自分の命は自分で守る」意識の涵養と力の育成
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」の推進
- ・保健指導と食育指導の連携強化

「生徒指導の視点を生かす」

研修テーマ「対話を通して、自分の考えを広げ深める子」

5
ス
テ
ジ

I 「団結しよう」

- 学習ルールを身に付ける
- 元気な朝のあいさつをする

II 「学び合おう」

- 見て聴く、見て話す
- 友達のよい行動を見習う

III 「挑戦しよう」

- めあてに向かって運動する
- 心のこもったあいさつをする

IV 「認め合おう」

- 友達の考えから学ぶ
- 相手を大切に言葉遣い

V 「つなげよう」

- さらに力を伸ばす
- 感謝の気持ちを表す

地域連携・幼小中高連携の推進

異校種間連携

- ・幼小中高連携打合せ(年2回)
- ・校内研修の情報交換
- ・公開授業・出前授業
- ・児童会&生徒会の交流

稲取小中合同評議員会

(稲取地区学校運営協議会)

- ① 育てたい子供像の共有
- ② 連携の地域基盤づくり
- ③ 地域学校協働活動の推進

『社会に開かれた教育課程』の実現

SC・SSW・関係機関との連携